

## 秋田駒ヶ岳の火山活動解説資料（平成 22 年 6 月）

仙台管区气象台  
火山監視・情報センター

めだけ  
女岳北東斜面では、4月の観測と比較して地熱域の広がり大きな変化は認められませんでした。女岳南東火口では、地熱の高い箇所が確認されました。

ただちに噴火する兆候は認められませんが、今後の火山活動の推移に注意する必要があります。

平成21年10月27日に噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

## ○ 活動概況

## ・噴気など表面現象の状況（図5～8）

仙岩峠に設置してある遠望カメラ（東北地方整備局）では、噴気は観測されませんでした。

2～4日かけて実施した現地調査によると、女岳北東斜面では、ごく弱い噴気を観測しましたが、地表面温度分布<sup>1)</sup>では、前回（4月9日）の上空からの観測と比較して、地熱域の広がり大きな変化は認められませんでした。女岳南東火口では、噴気は観測されませんでした。地中温度<sup>2)</sup>は、56～79℃と地熱の高い箇所が確認されました。以前から定常的に地熱の高まりがみられている女岳山頂北部の噴気地熱地帯では、地表面温度分布<sup>1)</sup>などに特段の変化はなく、新たな地熱域は認められませんでした。

- 1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を検知して温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。
- 2) サーミスタ温度計による測定。サーミスタ温度計は、半導体の電気抵抗が温度変化する性質を利用して温度を測定する測器です。

## ・地震や微動の発生状況（図2～4）

火山性地震は少ない状況が続いています。火山性微動は観測されませんでした。

## ・地殻変動の状況（図9～10）

2～4日にかけて実施したGPS繰り返し観測では、火山活動による考えられる変化は観測されませんでした。

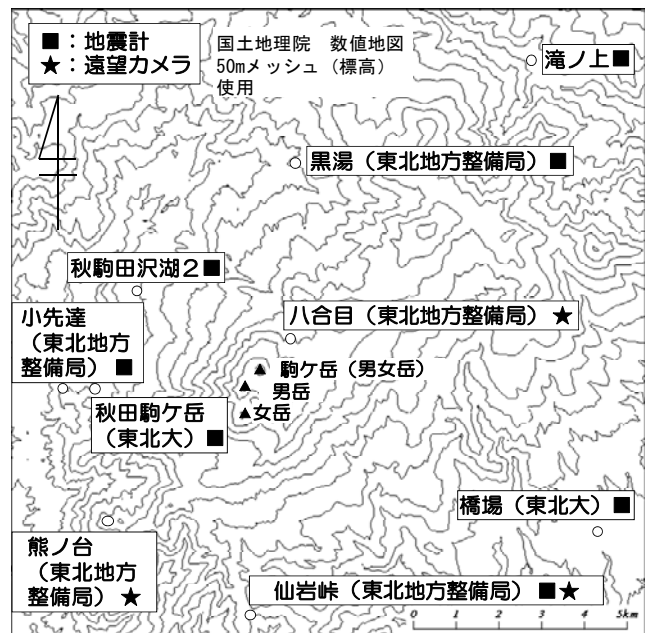


図1 秋田駒ヶ岳 観測点配置図

この火山活動解説資料は、仙台管区气象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 22 年 7 月分）は平成 22 年 8 月 5 日に発表する予定です。

※資料は気象庁のデータその他、国土交通省東北地方整備局、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ (標高)」を使用しています (承認番号 平 20 業使、第 385 号)。また、同院発行の『数値地図 25000 (地図画像)』を複製しています (承認番号 平 20 業複、第 647 号)。

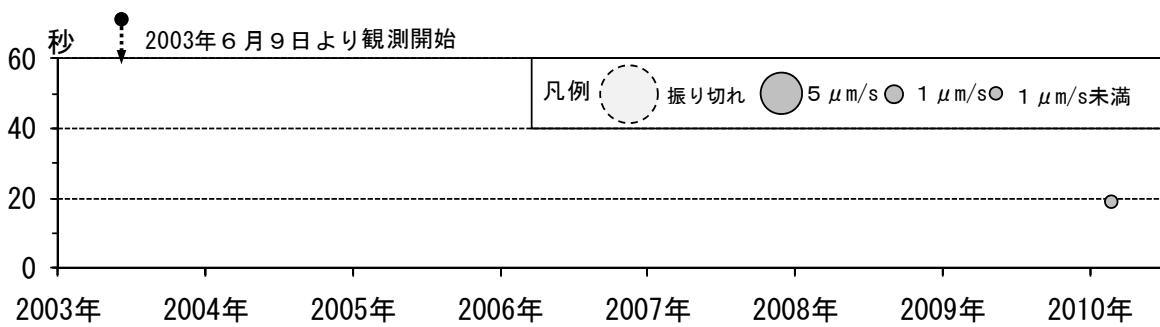
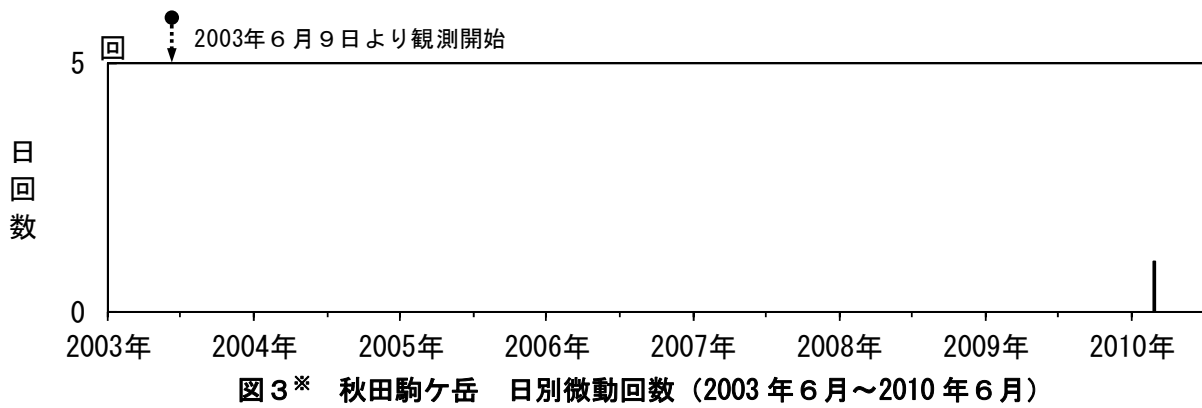
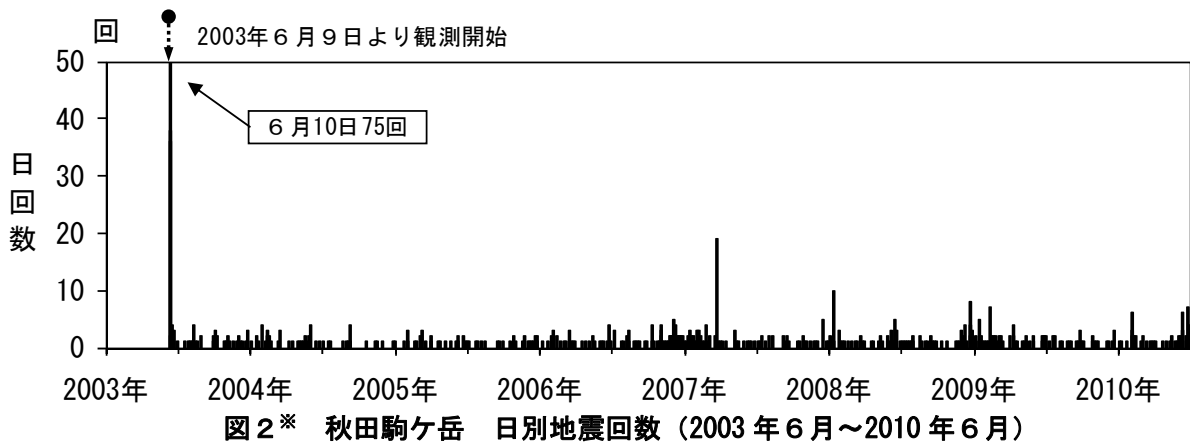


図4※ 秋田駒ヶ岳 微動の継続時間と上下動最大振幅（2003年6月～2010年6月）  
東北大学秋田駒ヶ岳観測点による。

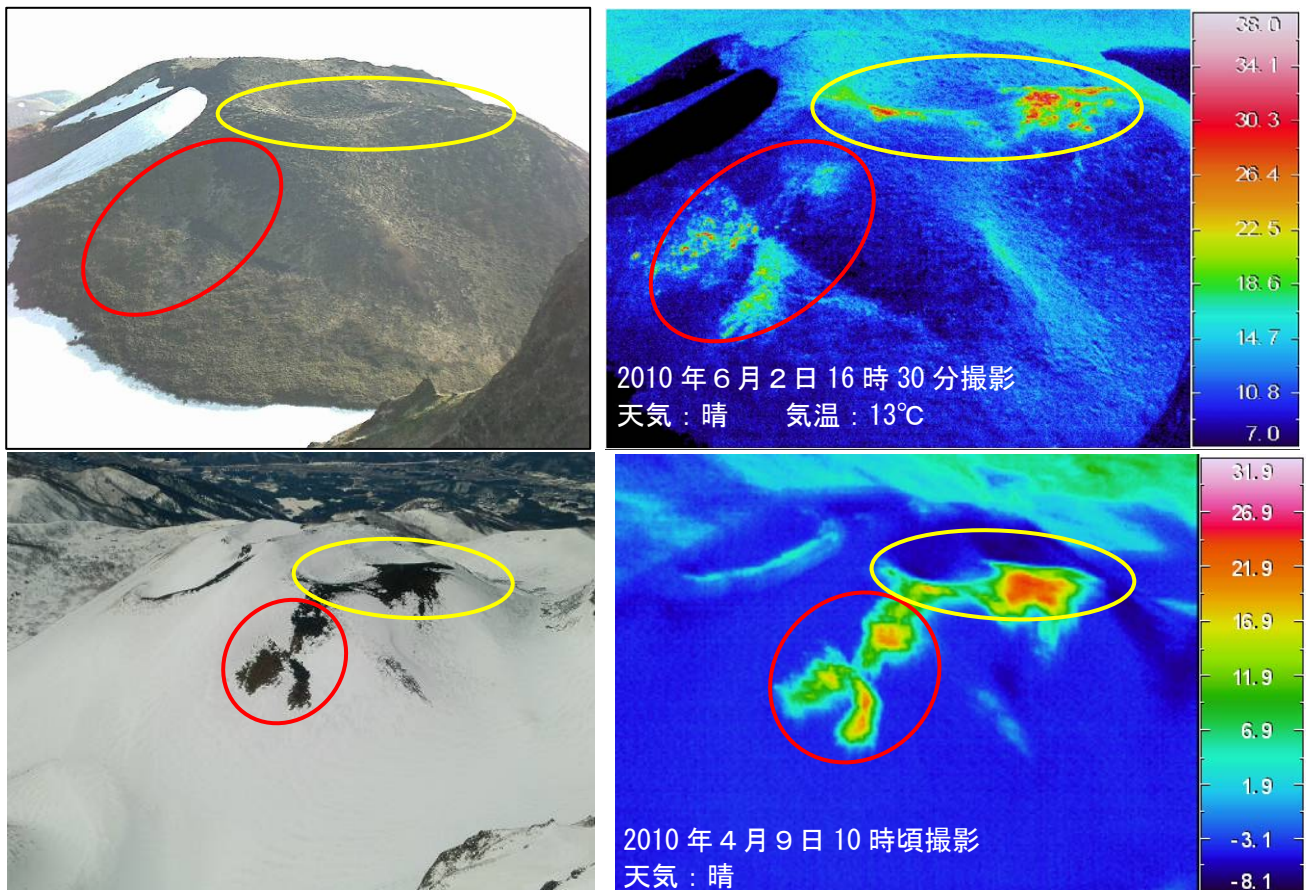
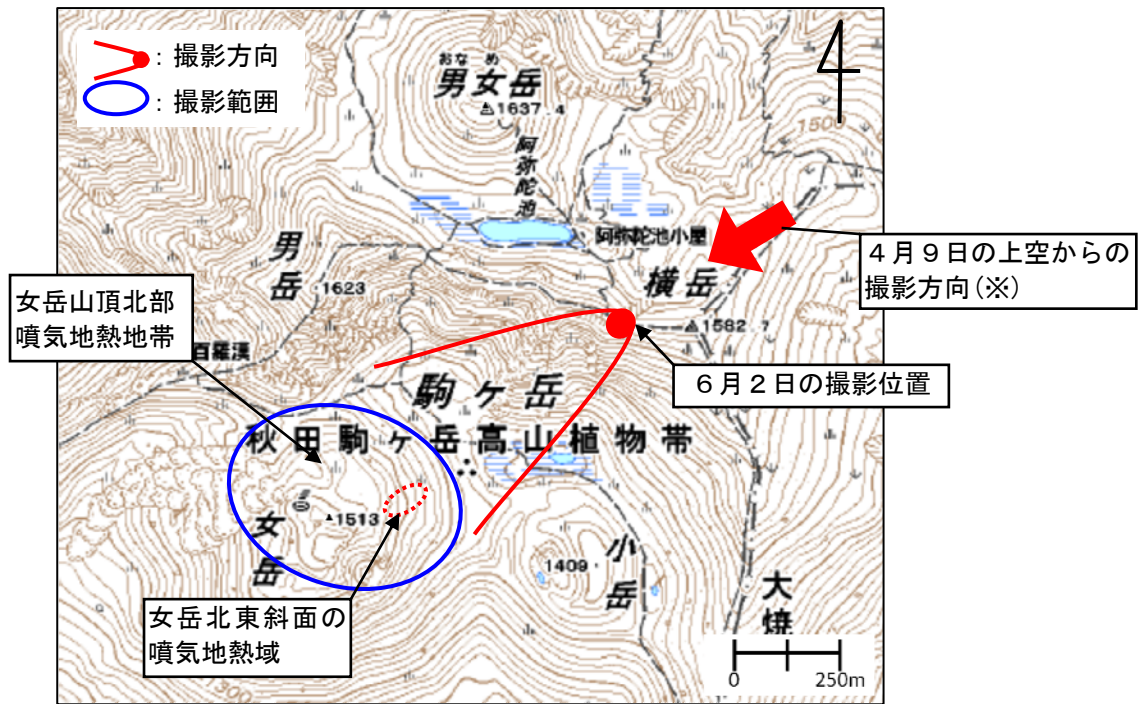


図6 秋田駒ヶ岳 女岳北東斜面の可視画像 (左) と地表面温度分布<sup>1)</sup> (右)  
 (上段: 2010年6月2日撮影)  
 (下段: 2010年4月9日岩手県の協力により上空から撮影)

- ・ 図の実線赤色囲みの領域が、2009年8月に確認され4月9日の調査で拡大が確認された北東斜面の噴気地熱域です。
- ・ 図の実線黄色囲みの領域が、以前から地熱の高まりがみられる山頂北部の噴気地熱地帯です。
- ・ 図中の囲みの無い領域で、温度が高く表現されている部分は、日射による影響を受けていると考えられます。

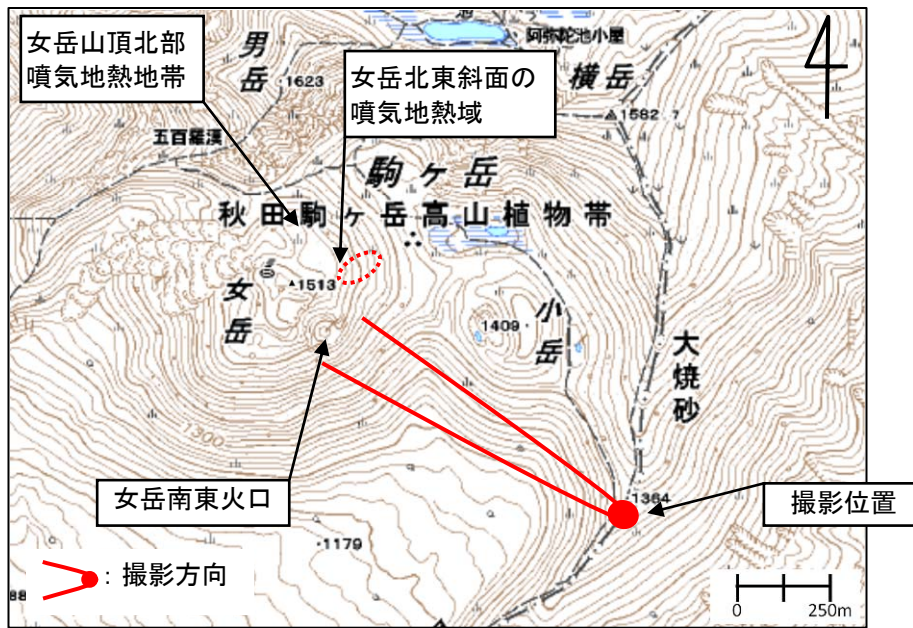


図7 秋田駒ヶ岳 地形図と撮影位置（図8）

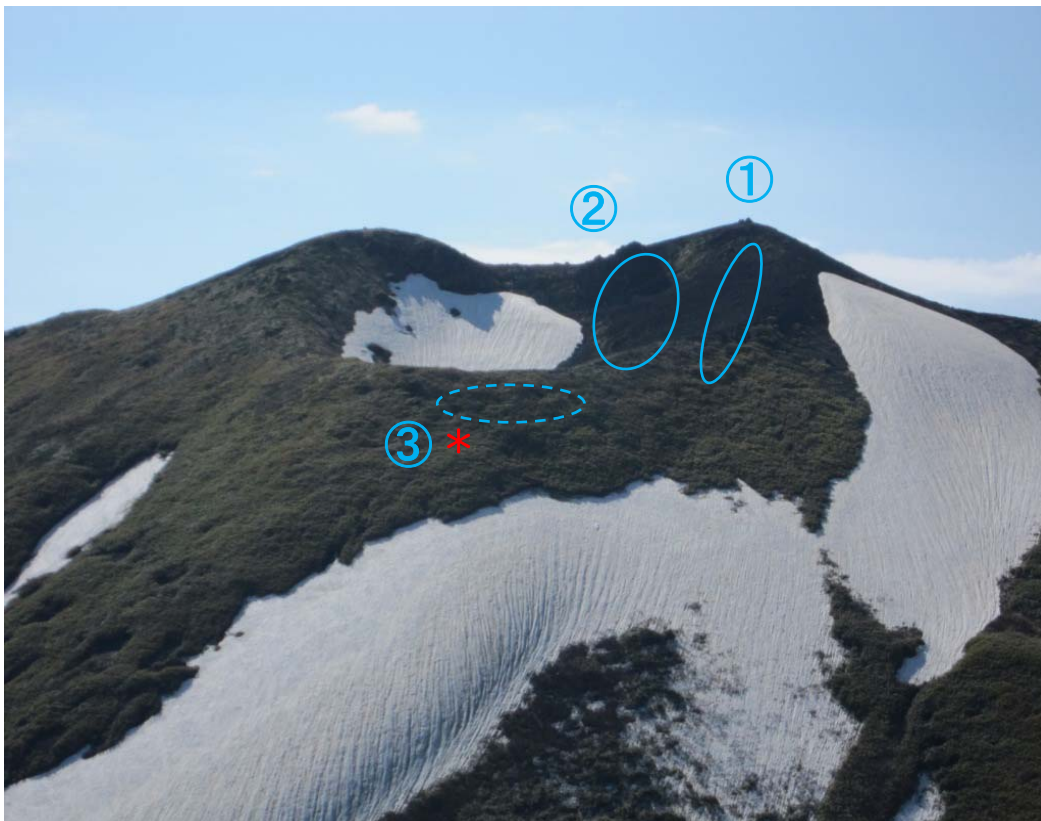


図8 秋田駒ヶ岳 女岳南東火口 2010年6月3日（大焼砂分岐付近から撮影）

- ・ 地中温度<sup>2)</sup>（深さ10~30cm）
- ①：火口縁 71℃
- ②：斜面 79℃
- ③：火口底\* 56℃

・ 噴気は観測されなかった。

\* 地中温度測定を実施した火口底（図の破線囲み）は手前側斜面の内側。この図では見えていない。

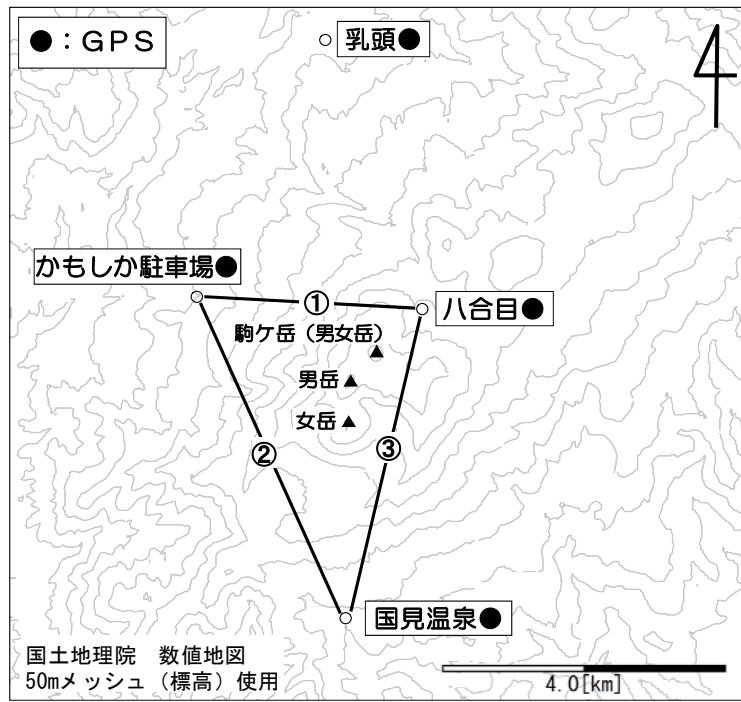


図9 秋田駒ヶ岳 GPS繰り返し観測点配置図

GPS基線①～③は図10の①～③に対応しています。  
 乳頭観測点は基準観測点として使用しています。

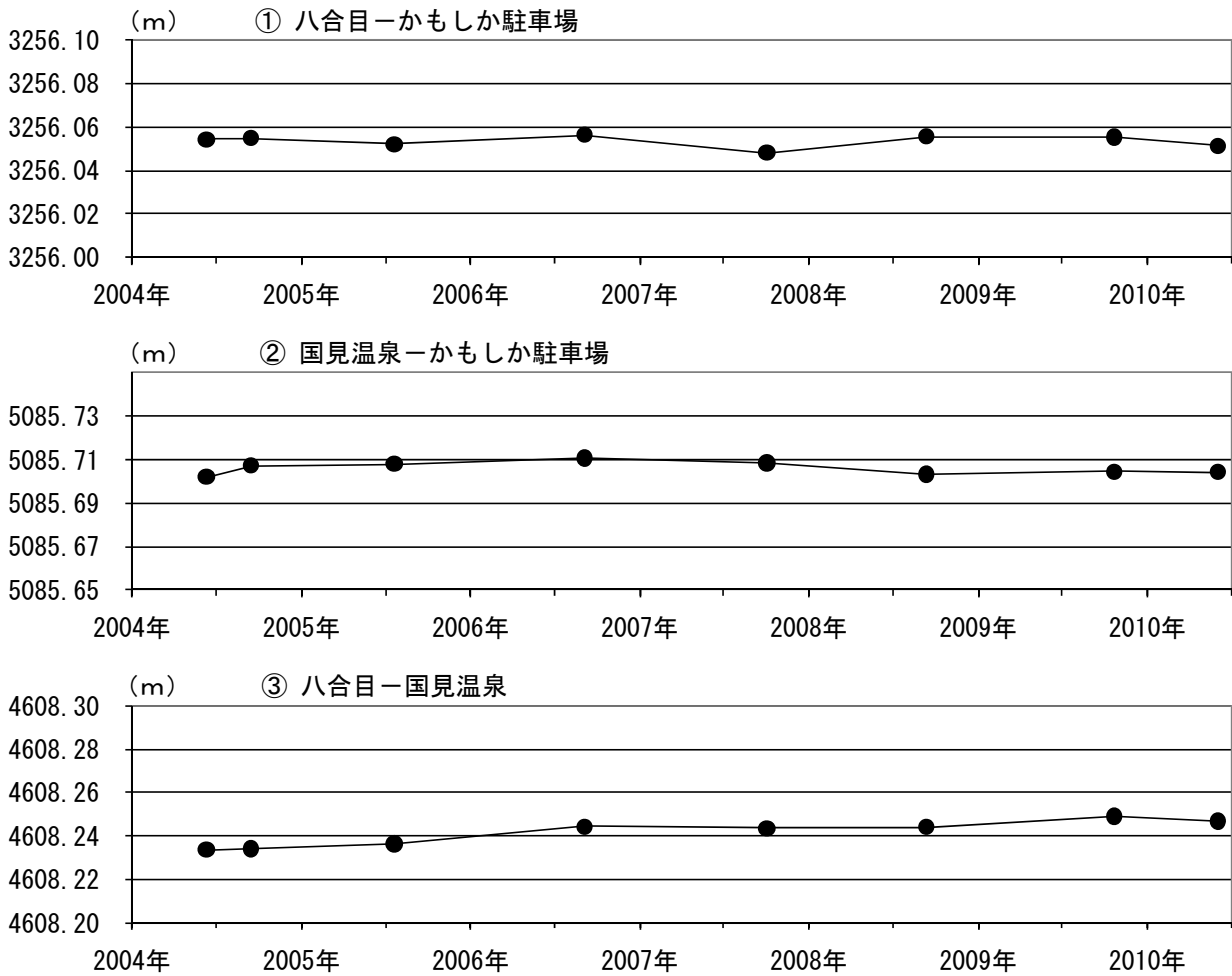


図10 秋田駒ヶ岳 GPS繰り返し観測による基線長変化図（2004年6月～2010年6月）

上図の基線番号①～③は図9のGPS基線①～③に対応しています。